

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成18年3月9日(2006.3.9)

【公開番号】特開2004-72751(P2004-72751A)

【公開日】平成16年3月4日(2004.3.4)

【年通号数】公開・登録公報2004-009

【出願番号】特願2003-207964(P2003-207964)

【国際特許分類】

H 04 M 1/2745 (2006.01)

H 04 M 1/00 (2006.01)

H 04 Q 7/38 (2006.01)

【F I】

H 04 M	1/2745	
H 04 M	1/00	S
H 04 B	7/26	1 0 9 T
H 04 B	7/26	1 0 9 L

【手続補正書】

【提出日】平成18年1月23日(2006.1.23)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

使用者の編集操作によって入力された文字や数字等から成るデータを不揮発性メモリに記憶保持し、当該データを表示画面に表示可能な携帯電話機であって、

使用者からの入力に応じて文字や数字等を表示画面に表示しながらデータの編集を行う編集手段と、

データの編集中に着信があった場合には、当該編集中のデータを不揮発性メモリに記憶して通信処理を行い、当該通信が終了すると、当該記憶した編集中のデータの存在を示す情報を表示させ、使用者により編集処理が開始されると、前記記憶した編集中のデータを表示画面に再度表示させ、前記編集手段により使用者からの入力に応じた編集を続行可能にし、使用者から編集したデータの登録の指示があったときには、当該データを不揮発性メモリへ記憶する制御手段とを、

備えたことを特徴とする携帯電話機。

【請求項2】

使用者の編集操作によって入力された文字や数字等から成る編集中のデータを記憶する揮発性メモリと、前記編集したデータを使用者の登録指示により記憶する不揮発性メモリとを備え、当該データを表示画面に表示可能な携帯電話機であって、

使用者からの入力に応じて文字や数字等を表示画面に表示しながらデータの編集を行う編集手段と、

データの編集中に着信があった場合には、当該編集中のデータを揮発性メモリに記憶して通信処理を行い、当該通信が終了すると、当該記憶した編集中のデータの存在を示す情報を表示させ、使用者により編集処理が開始されると、前記記憶した編集中のデータを表示画面に再度表示させ、前記編集手段により使用者からの入力に応じた編集を続行可能にし、使用者から編集したデータの登録の指示があったときには、当該データを不揮発性メ

モリへ記憶する制御手段とを、
備えたことを特徴とする携帯電話機。

【請求項3】

編集中のデータを表示画面に表示している時に着信があった場合、前記編集中のデータをメモリに保護データとして記憶保護して通信処理を行い、

前記メモリに記憶保護した保護データの存在を示す情報を表示画面に表示し、一旦、前記編集処理が終了した後、次に使用者がデータ編集処理を開始すると、メモリに前記保護データを記憶保護していた場合に該データを表示画面に表示可能とした携帯電話機。

【請求項4】

編集中のデータを表示画面に表示している時に着信があった場合、前記編集中のデータをメモリに保護データとして記憶保護して通信処理を行い、前記メモリに記憶保護した保護データの存在を示す情報を表示画面に表示した後、使用者がデータ編集処理を選択すると、前記メモリに記憶保護していた保護データを表示画面に表示するようにした携帯電話機。

【請求項5】

編集中のデータを表示画面に表示している時に着信があった場合、前記編集中のデータをメモリに保護データとして記憶保護して通信処理を行い、該編集処理を一旦終了させるステップと、

前記メモリに記憶保護した保護データの存在を示す情報を表示画面に表示するステップと、

前記編集処理を一旦終了させた後に使用者がデータ編集処理を開始すると、前記メモリに記憶保護していた保護データを表示画面に表示するステップと、

編集したデータの登録指示があったときには編集されたデータを登録データとしてメモリに記憶するステップと、

を有する携帯電話機のデータ編集方法。